

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2433 第36回例会 2016. 3. 24 晴

点 鐘：千葉一利 会長
進 行：小野恒靖 SAA

会長挨拶

千葉一利 会長



みなさん、こんにちは。調子にのり、第3回目の雑学講座です。8割答えられたら賞品をあげます。答えを書いてみてください。

1. 助教授と准教授のちがいは。
2. 深夜タクシーの料金が高いのは。
3. 落語の真打とは。
4. 香水に含まれている意外な成分とは。
5. 「エリーゼのために」のエリーゼについて
6. 歓迎式典の礼砲は21発。その訳は。
7. 大道具と小道具の区別。
8. トランプについて知っていること。
9. 首相の公邸、官邸とは。
10. 第三セクターとは。

解答

1. 2007年、学校教育法の改正によって助教授が廃止され、新たに准教授が誕生した。助教授は「教授の職務を助けること」とされていたが、実情は教授から独立して学生の指導や研究をしている者が多かった。そこで准教授は「教授に準ずる資質や能力を持つ立場」として見直された。
2. 労働基準法に「22時から翌朝5時まで通常の賃金より25%増しの賃金を支払わなくてはならない」とある。運転手に支払う分、お客が出すのである。因みに深夜の割増しは嘗ては3割増しが多かったが、今は2割増しが多いという。
3. 「真打」とは落語で最も位が高く、興行でもトリで出演する資格を持つ。また弟子をとることができる。諸説あるらしいが、「ロウソクの芯を消す芸人」、「室内のロウソクを最後に消す出演者」すなわちトリで出演する芸人を「真打」と呼ぶようになったという。
4. 香水とおならには同じ成分が含まれている。成分はタンパク質が分解される時に出るインドールとスカトールだ。これは濃度が高いと不快な便臭がするが、薄めるとスカトールはレモンやジャスミン、インドールは麝香やスミレなどと同じ爽快な香りとなる。
5. ベートーベン作曲の有名なピアノ曲「エリーゼのために」はエリーゼという女性に贈られたと言われていたが、彼女の名前は実はテレゼだそうだ。テレゼ・マルファッティは貴族の女性で18歳、彼女の手紙箱の中からこの曲が発見された。ところが悪筆

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館 Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0177
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>
Mail home@futtsuchuo-rotary.org



でテレーゼがエリーゼになったという。貴族ではなかったベートーベンは身分の違いで結婚できなかった。

6. 大きな音で悪魔を追い払う意味もある。21発は3×7発。3は幸運を表す数字。7はラッキーセブンで神聖な数。それを掛けるとダブルの幸運を呼ぶので。

7. 大道具は舞台などで背景を作る道具。小道具は日常生活に必要な道具。大きさには関係ない。

8. トランプの枚数 $13 \times 4 = 52$ 。1年52週。A(エース)を1、Jを11、Qを12、Kを13としてその数の和は364、ジョーカーを足すと365で1年の日数となる。元々トランプというのは切り札の意味で、西欧ではカードあるいはカードゲームという。中近東から西洋に伝わった。

9. 官邸は首相の仕事場、公邸は住居。

10. 第一セクターは国や地方公共団体、第二セクターは民間企業、第三セクターはこの二つの共同出資でできた事業体のこと。

幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 地区研修・協議会の案内が届きました。
2016年4月29日(金) 9:00 登録開始
10:00 点鐘
第一部 本会議(全体会議) 10:00～12:00
第二部 部会別会議 13:00～16:00
場所:アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
2. 君津 RC 例会変更案内受領
4/18(日) 9:00～15:00
場所:君津市市民グランドゴルフ場
マザー牧場

4/17(月)を振り替え、グランドゴルフ&バーベキュー大会の親睦例会

3. 上総RCより会報受領(回覧)

卓話

小野恒靖 会員



(この記事は小野会員の卓球、器楽演奏の実演に伴ったお話しを元に編集担当者が構成したものです。多才、多芸で趣味の範囲が広い小野会員。今熱中しているという卓球用ラケットを手にして、またフォークギターを抱えて、さらにはピアノを流麗に弾き、ヴェルレーヌ風に言えばヴィオロンのためいきをも奏でながら、変幻自在に立ち位置を変え、実演を交え卓球と音楽・楽器演奏について熱く話をされました。)

・卓球について

ラケットは大きく分けて2種類あります。昔からあり年配者には懐かしい、表面で打球する日本式ペンホルダー型、中国で発展した両面にラバーを貼る中国式ペンホルダー型、そして現在主流になっている両面で打球することができるシェークハンド型です。



(インターネット上の画像を引用する)

これらのラケットにはラバーを貼って使いますが、ラバーも大きく分けると2種類があります。表面が平坦になっている裏ソフトとゴムの粒が表面にある表ソフトです。裏ソフトは打球に回転がよくかかりスピ

ードがでます。表ソフトは回転よりもスピード重視のラバーです。表ソフトの中には変化球を作り出す粒高ラバーというものもあります。



(インターネット上の画像を引用する)

両面で打球するラケットのラバーの色は黒と赤の2色に決められています。またピンポン玉の色も白やオレンジがあります。ピンポン玉の直径は40mm、セルロイド製とプラスチック製がありますが、両者の反発係数はほぼ同じです。しかし、セルロイド製は発火する危険性があること等からプラスチック製が主流になっており、公式戦での使用球もプラスチック製に統一されつつあります。

(フロアからの卓球選手が試合で着るユニフォームに関する質問に答えて)選手のユニフォームは次第に洗練されたものになってきています。(編集担当者は四元奈生美選手の斬新なファッションで選手の着るものの自由度が広がっていることを初めて知りました)



斬新なファッションの四元奈生美選手

(インターネット上の画像より引用)

・音楽・器楽演奏について

・ピアノ

ピアノは18世紀初頭イタリアで出始め、18世紀末ドイツではほぼ完成された。

ピアノ曲の名曲「乙女の祈り」はシューベルトの作曲と間違われることが多いのですが実はポーランド出身のテクラ・バダジェフスカが18歳あるいは22歳ごろ作曲した曲です。当時彼の地ポーランドでは貴族のあいだでピアノを弾くことが流行し、殊に女性では貴公子を惹きつけることが目的化したようなところもあったようです。それが功を奏したのか、バダジェフスカも首尾よく伴侶を獲得、5人の子どもをなすも30歳ほどで夭折したそうです。

・ギター

弦楽器で現在の型は19世紀中ごろに確立しました。20世紀に入って多くの優れた独奏曲が作曲されました。

多くの方がスペインのギタリスト、ナルシソ・イエペスの名演奏の「禁じられた遊び」をご存知だと思いますが、この曲は長い間作曲者不詳とされていましたが、紆余曲折を経て1913年になってスペイン人アントニオ・ルビーナがギターの練習曲として発表したものであることが判明しました。

・ヴァイオリン



16世紀に出現し、17世紀にイタリアで完成した。音色の華やかで表現力に富み、独奏や合奏の中心的存在である。

(編集担当者:ギター、ピアノ、ヴァイオリンと70歳を過ぎて猶衰えぬ向上心・向学心。このような生き方はまさしくロータリアンの鏡だと感服した次第です。)

ニコニコ BOX

渡辺哲夫 親睦担当委員



栗原典子 金曜日、榎本会員と渡辺会員にハー
フにお誘いいただきまして、満足な
スコアで回れました。
小野恒靖 卓話を聞いていただいたので。
合計 2,000 円

出席報告

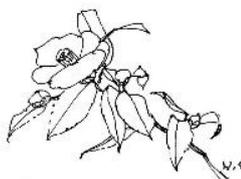
志波 克 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	26/24	19	5		79.17%
前回	26/24	17	7		70.83%
前々回	26/24	22	2		91.67%

総会員数：27名－休会1名＝26名

小野会員の四つの楽器を弾き分けながらの音楽
解説、全国級腕前での卓球談義に対して出席率が
80%を切ったのは少し惜しい。



ジャコウジカ(インターネット上の画像を引用)

編集後記: 今回の千葉会長のお話しにもあった麝香(じゃこう)。これはジャコウジカの腹部にある香囊(ジャコウ腺)から得られる分泌物を乾燥したものだそうです。これも採取当初は強いアンモニア臭がするのだとか。同じように、インドール、スカトールも単離された結晶、濃い濃度では大便やおなら等、不快なニオイだが薄めていくとやがては香水の原料になるような芳香に変わるとは何とも不思議な気がします。インドールもスカトールも、そして麝香も現代人の快適な生活空間作りにはなくてはならない工業原料になっているようです。

翻って、有能だが他人から毛嫌いされるような強烈な個性の持ち主が、経験や年齢によって「希釈」され、やがて本来の資質を損なうことなく有能な人材へと成長する…。実社会では時に目にするものです。でもそういう方に褒めるつもりで「あなたはインドールのような方ですね」とは決して言うわけにはいきませんが。(山下)



金谷港より富士山を望む